

海外研修報告

フィンランド海外研修報告（PISA 型学力の育成）

I 研修の内容

教育課題研修指導者海外派遣プログラムで、10月14日から10月25日まで、フィンランドのPISA型学力と教育制度について研修を行った。

1 調査団の研究課題

- (1) フィンランドの教育制度や特徴
- (2) フィンランドにおける理数教育の現状と課題
- (3) PISA 型学力の育成～思考力・判断力・表現力を育成する授業の在り方～
グループ学習と探求型学習や学習意欲を高める学習環境

2 調査団の調査方法

学校関係 ムックラ小中一貫校，ランシハリユ小学校，カンナクセン高校
ヘルシンキ大学附属教員養成訓練実習校，スオメンリンナ小学校
エスポーユフティスリュセオ中高校，クオッパヌミ小中一貫校，ユバスキュラ大学と附属実習校
関係機関 国家教育委員会，ラハティ市中央図書館，ユースホーム

II 研修のまとめ

1 フィンランドにおける教育に対する考え方【研究課題(1)に関わって】

- ・教育は無償。義務教育では教材費も，高校までは給食費も，そして学校と名のつくところは大学院までも授業料は無償になっている。
- ・平等で質の高い教育。性別，地域，家庭経済状況に関わらず平等な教育を受けることができる。先生達の意欲や質も高い。
- ・個への対応の充実。個々を尊重しながらのびのびと育てる。違いを認め違うことを恥としない。特別支援教育が充実している。
- ・外部との連携による支援体制

2 PISA 型学力の育成【研究課題(3)に関わって】

- ・グループ活動を核とした学び合い活動が数多く展開されていた。学力面だけでなく，長いスパンで将来につながる目的で実施されていた。具体的には，異学年の教え合いであったり，教科横断型であったりと必ずグループ活動を取り入れている。教師の関わり方には学ぶべき点が多い。
- ・探求型学習で，「調べる」「話し合う」「表現する」という学習活動を展開していた。教師の支援の中で ICT を活用しながら，「なぜ」が中心の学習の進め方を学べた。
- ・授業を支える様々な要因が整えられていた。すべての子ども達に安心して学べる場の確保がされていて，徹底した少人数指導，個への働きかけの具体的な手法を学ぶことができた。「一人一人の児童生徒に合った学び方を私が一番よく知ってる」と多くの先生方が自信をもって言っていた。教師の質の高さと学び合いの文化とプロセス重視のフィンランド教育があった。

(塩山中学校 三枝 ゆかり)